

鉄筋からのセパレータ取付け金物

# ニューセパグリップ

鉄筋上側から簡単施工

PAT.



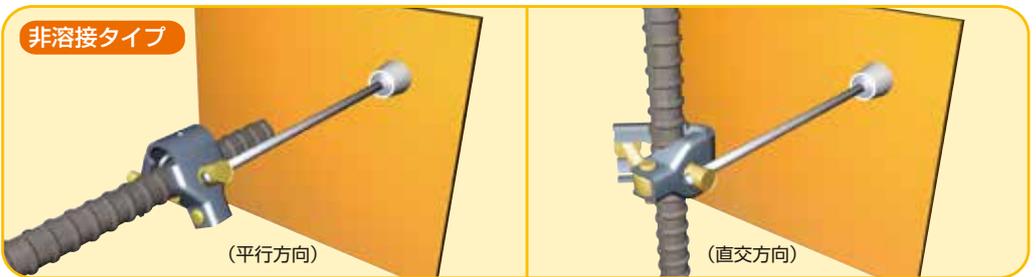
## セパグリップ

PAT.

鉄筋にがっちリグリップ  
簡単に取付け可能



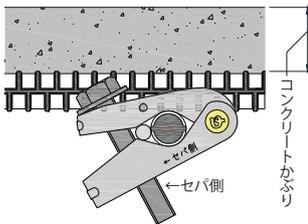
コンクリートの  
充填性をアップ



※1 直交方向については、切欠き側をさけて溶接してください。(注意事項参照)

### 用途

- ・基礎型枠、耐圧盤型枠
- ・ボックスカルバートのスラブ外壁部分等



(ニューセパグリップのみ)

### 製品仕様

品名	セパグリップS※2	セパグリップSW	セパグリップM	セパグリップMW	セパグリップLW	ニューセパグリップ
適用鉄筋径	D13~D16(D10)	D13~D16(D10)	D19~D29	D19~D29	D32~D38	D10~D16
セパレーターサイズ	W5/16・W3/8	—	W5/16・W3/8	—	—	W5/16、W3/8兼用
製品形状						
締付けトルクN・m (kgf・cm)	19.6 (200)					24.5 (250)
許容荷重※3	平行方向	5.0 (500)	—	5.0 (500)	—	1.0 (100)
	直交方向	3.0 (300)	—	3.0 (300)	—	—

※2 セパグリップSをD10に適用させる場合には、平行方向、直交方向とも3.0kN以下の許容荷重でご使用ください。

※3 溶接タイプの許容荷重は、溶接の技量によって左右されますので、表記しておりません。



岡部株式会社

# セパグリップ / ニューセパグリップ

品名	適用鉄筋径	適用セパレーター	単位質量(kg)	梱包質量(kg)	入数(個数)	荷姿
セパグリップS8	D13・D16 (D10)	W5/16	0.164	16.4	100	ケース
セパグリップS9		W3/8	0.162	16.2	100	ケース
セパグリップSW		—	0.146	14.6	100	ケース
セパグリップM8	D19～D29	W5/16	0.239	12.0	50	ケース
セパグリップM9		W3/8	0.237	11.9	50	ケース
セパグリップMW		—	0.226	11.3	50	ケース
セパグリップLW		—	0.223	11.2	50	ケース
ニューセパグリップ	D10～D16	W5/16・W3/8兼用	0.140	7.0	50	ケース

## 取付方法 《セパグリップ》



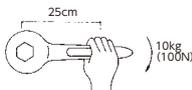
## 《ニューセパグリップ》



## 注意 セパグリップ / ニューセパグリップ使用上の注意事項

### 《共通事項》

- ナット又は締付ボルトは、所定のトルク値で締付けてください。(締付けトルクの目安は、右図をご参照ください。250kgf・cmの場合)
- 必ず許容荷重以内でご使用ください。
- 許容荷重の数値は、製品本体単体の強度であり、鉄筋の配筋状況による変形は考慮していませんのでご注意ください。
- セパグリップM、MWは図-1の示す位置に鉄筋を合わせてください。
- 使用前に、製品に損傷がないことを確認してください。
- 本製品の使用目的以外には使用しないでください。
- 施工にあたっては仕様および使用上の注意を確認の上、取扱いに十分注意して行ってください。
- 許容荷重はセパレーターに弊社の丸セパを使用した場合の数値であり、丸セパ以外のセパレーターの使用を保証するものではありません。
- 締付ボルトの過度な締付けは、本体の変形や締付ボルトが破損する恐れがあります。

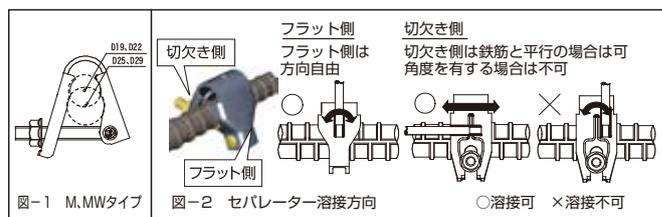


### 《セパグリップ》

- 直交または平行以外の角度に対する許容荷重は、直交方向の荷重以内でご使用ください。
- 鉄筋に取付ける際、ボルト頭部が突出しますので、そのかぶりを考慮して、ボルトの向きには十分ご注意ください。
- セパレーターの螺合長が短い場合(W5/16及びW3/8で11.5mm以下)には所定の強度が確保できませんのでご注意ください。

## 溶接する場合 《セパグリップ》

- セパレーターを本体に溶接する場合は、鉄筋への取付け前に行ってください。
- 鉄筋に取付けられた本体にセパレーターを後付け溶接する場合は、溶接熱で初期トルクが低下する恐れがありますので、溶接終了後の冷めた時点でナットを必ず増し締めしてください。
- セパレーターを溶接する場合には、エア抜き孔を塞がない位置に行ってください。
- セパレーターを溶接する場合は、図-2に示す通りに溶接できない方向があります。溶接は、必ず溶接の有資格者が確実に行ってください。



## 《免責事項》

- 本製品に問題が生じた場合には、下記の免責事項をふまえた上で対応させていただきます。
- 本カタログに記載した注意事項が行われずに発生した不具合。
  - 本カタログに記載した事項に反した施工が行われた不具合。
  - 本カタログに記載する用途以外の使用による不具合。
  - 施工業者による施工・取扱いに起因する不具合。
  - 引渡し後、製造・仕様・性能の改変を行い、これに起因する不具合。
  - 開発・製造・販売時に通常予想される環境等の条件以外における使用・保管・輸送等に起因する不具合。



〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2  
 TEL 03-3621-1611 FAX 03-3621-1616  
<https://www.okabe.co.jp>

北海道支店 ☎011(873)7201	千葉営業部 ☎043(290)0150	関西支店	九州支店 ☎092(624)5871
東北支店	横浜営業部 ☎045(651)1741	大阪兵庫営業部 ☎06(6339)9001	福岡営業部 ☎092(624)5886
仙台営業部 ☎022(288)7161	北関東営業部 ☎0480(25)5656	京滋営業部 ☎0774(43)2200	大分営業部 ☎097(547)8861
盛岡営業部 ☎019(606)3780	特販営業部 ☎03(5637)7196	中四国支店	長崎営業部 ☎095(882)8282
信越支店	名古屋支店	広島営業部 ☎082(254)4811	宮崎営業部 ☎0985(29)4965
新潟営業部 ☎025(287)7711	名古屋営業部 ☎0568(71)6321	岡山営業部 ☎086(273)5671	熊本営業部 ☎092(624)5873
長野営業部 ☎026(217)2445	静岡営業部 ☎054(204)2050	山口営業部 ☎083(902)1452	鹿児島営業部 ☎099(812)8380
東京支店 ☎03(3623)6441	北陸営業部 ☎076(238)7353	山陰営業部 ☎0853(24)9856	沖縄支店 ☎098(856)2700
東京営業部 ☎03(3623)8181		四国営業部 ☎087(841)0023	

## ●特約店・取扱店